

## 株式会社商工組合中央金庫 第2回経営諮問委員会

---

1. 開催日 平成21年12月9日(水)

2. 出席者 (「委員名簿」別添①)

(委員出席者) 敬称略

佐伯昭雄、鈴木宏延、神谷光信、菊地義治、坂戸誠一、関根宏一、村越政雄、手塚伸、杉山清、田中一郎、尾池良行、山下雅生、杉谷雅祥、難波正義、国東照正、岩田泰一、田中丸善保、香取伸明、千倉成示、渡邊吉弘、野村史郎

(商工中金出席者)

関取締役社長、杉山取締役副社長、木村取締役副社長、法師人専務取締役、安倍取締役、新保取締役、野村取締役、小川取締役、森取締役、田中(千)取締役、田中(秀)取締役、山口取締役、秋津執行役員総務部長、菊地執行役員経営企画部長

3. 議事概要

(諮問事項) (別添②)

- ・ 商工中金のガバナンスについて
- ・ 平成21年度経営方針・年次施策(下期)について

(委員からの主な発言等)

○ 諮問事項関連

- ・ 資金繰りに困窮する中小企業に対し、商工中金が中心となり金融機関を取りまとめ協調融資を行った好事例がある。今後も商工中金が中心となって他の金融機関と協調し、中小企業を支援して欲しい。これが商工中金の機能の発揮、出番だと期待する。
- ・ 商工中金の危機対応業務を含めたセーフティネット機能に対する中小企業の期待は高い。中小企業支援のために、目利き力を高めセーフティネット機能の更なる発揮に努めて欲しい。
- ・ 危機対応準備金は、商工中金が危機対応業務の円滑な実施のために、必要な財務基盤が十分に確立されると認める場合に国庫に納付するとされているが、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しく、商工中金が中小企業金融の円滑化のために機能を発揮するためには、今後も継続して必要である。
- ・ 中小企業金融円滑化法の返済猶予については、中小企業の立場で様々な相談にのって欲しい。
- ・ 「ものづくり中小企業向け支援策」については、引き続きつなぎ資金制度による資金面のサポートに期待する。

- ・ ショッピングセンターの再生、農業からの新分野進出等、地域経済にはそれぞれ特有の課題がある。それらに対応し解決していくためには、全国展開し、様々なスキル・ノウハウ・情報等を有する商工中金の総合的な支援が必要であり、引き続き商工中金の支援を期待する。
- ・ グローバル化により、海外へ進出する中小企業が増えている。既に商工中金はニューヨーク等に展開しているが、更なる海外展開を期待するとともに、海外の情報提供や提携銀行の紹介等、中小企業への総合的なサポートの拡充を期待する。
- ・ 商工中金には、他行にない中金会、ユース会という組織・資産がある。現在の危機を脱する手段として、こうした組織を活用し、ビジネスマッチングに力を入れて欲しい。既に数百件の実績はあるが、商工中金ならではの更なる推進をお願いしたい。

#### ○ その他

- ・ 商工中金からの配当は組合の重要な財源となっている。今後も商工中金を取り巻く経営環境は厳しい状態が続くと思われるが、是非、現在の配当水準を維持して欲しい。
- ・ 「株式の仕組み」が企業に十分な理解が得られていないため、パンフレット等を作成する必要がある。

#### (諮問結果)

- ・ 諮問事項「商工中金のガバナンス」及び「平成21年度経営方針・年次施策（下期）」に即して、業務運営を行っていくこと。
- ・ 委員の発言を踏まえ、必要な事項を検討のうえ業務運営に活かしていくこと。  
以上について、委員一同が一致した。